

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	道徳教育の理論と実践		授業コード	K006551
担当教員名	藪内 聡和		科目ナンバリングコード	E20706
配当学年	2	開講期	後期	
必修・選択区分	教職関係科目(必修) 中学校教諭一種免許状(社会) 教職関係科目(選択) 高等学校教諭一種免許状(工業、 情報以外)	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	教職に就こうという強い意思をもって履修してください。			
受講心得	この授業では、受講者の積極的な発言による参加が重要です。			
教科書	羽田・関川編『道徳教育の理論と方法』、弘文堂、2016年。			
参考文献及び指定図書	授業中に、適宜、紹介します。			
関連科目	哲学概論A・B			

授業の目的	この授業では、教職に就こうとする学生が、道徳教育の指導をするために必要な知識・技能等を学ぶことを目的として、道徳教育の理論と実践を考察します。
授業の概要	講義と、道徳教育方法の体験により、道徳教育を学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：現代社会と道徳</b>  現代社会では、どのような道徳観を人々がもっているかを考察し、道徳教育を考える端緒とします。	予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。
<b>第2週：道徳とは何か</b>  道徳と倫理の意味とその関係について考えます。	予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。
<b>第3週：戦前の道徳教育の歴史</b>  修身の歴史を学びます。	予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。

<p><b>第4週：戦後の道徳教育の歴史</b></p> <p>戦後の道徳教育の歴史を学びます。</p>	<p>予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。</p>
<p><b>第5週：ピアジェとコールバーグの道徳性の発達</b></p> <p>ピアジェとコールバーグの道徳性発達理論を考察します。</p>	<p>予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。</p>
<p><b>第6週：ブルとフロイトの道徳性の発達</b></p> <p>ブルとフロイトの道徳性発達理論を考察します。</p>	<p>予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。</p>
<p><b>第7週：道徳教育の方法1</b></p> <p>伝統主義に基づいた道徳教育方法を学習・体験します。</p>	<p>予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。</p>
<p><b>第8週：道徳教育の方法2</b></p> <p>価値明確化に基づいた道徳教育方法を学習・体験します。</p>	<p>予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。</p>
<p><b>第9週：道徳教育の方法3</b></p> <p>モラルジレンマに基づいた道徳教育方法を学習・体験します。</p>	<p>予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。</p>
<p><b>第10週：道徳教育の方法4</b></p> <p>モラルスキルトレーニングに基づいた道徳教育方法を学習・体験します。</p>	<p>予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。</p>
<p><b>第11週：学習指導要領解説1</b></p> <p>道徳の学習指導要領の目標と評価について学びます。</p>	<p>予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。</p>
<p><b>第12週：学習指導要領解説2</b></p>	<p>予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。</p>

道徳の学習指導要領の内容と全体計画について学びます。		
<b>第13週：学習指導案作成方法</b>		予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。
道徳の学習指導案の作成方法を考察します。		
<b>第14週：道徳教育と宗教</b>		予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。
道徳教育と宗教の関係について考えます。		
<b>第15週：道徳教育の課題</b>		予習：教科書の該当箇所を読んでおいてください。復習：授業で紹介した参考文献を読みノート整理をしてください(1時間)。
よりよい道徳教育の向けて今後の課題を検討します。		
<b>第16週：期末試験</b>		
授業で学んだ内容を試験問題とします。持ち込みは不可です。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	道徳教育の本質・目的に関心が持てる。
<b>【知識・理解】</b>	道徳教育の歴史を理解できる。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	道徳教育の方法を習得できる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	道徳教育の課題が考察できる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	<b>30点</b>			
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	<b>30点</b>			
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	<b>10点</b>	<b>10点</b>	<b>10点</b>	

<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	<b>10点</b>		
-----------------------------------	------------	--	--

**(「人間力」について)**

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

**○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安**

<b>成績評価方法</b>	<b>評価の実施方法と達成水準の目安</b>
<b>レポート・作品等 (提出物)</b>	授業内容をどの程度理解しているかを評価します。
<b>発表・その他 (無形成果)</b>	